

◆「シーリング管理士」とは・・・

1977年(S.52年)の第1回開催から今年で第36回を迎えます。合格者数は、3,677名です。

「シーリング管理士資格」は、材料・設計・施工までの知識及びシーリングの工程管理、積算技術をもつシーリング工事の指導的な人材に与えられる資格です。よって「シーリング防水1級2級施工技能士(国家資格)」を指導するライセンスでもあります。

◆「シーリング管理士」の効用は・・・

- 国土交通省監修「建築工事監理指針(上巻)」(平成22年版)
9章『防水工事』の6節『シーリング』の4項『施工』の a)『施工の体制』には、施工のほかに事前検討や施工管理を含めた検討・調整が必要であり、その役割を担う資格者として「シーリング管理士」が紹介されています。
- 日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 8防水工事—2008」
「4.5 施工管理」「(4) 施工の体制」にシーリング管理士の効用が記載されております。
- 日本建築学会「外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針・同解説」
4.5.5『推定耐用年数』の b)『推定耐用年数』の算出において1級技能士が施工し、シーリング管理士が管理する物件では品質(耐用年数)が未取得者に比べ最大30%アップする表が掲載されています。

建物の耐用年数(新築・改修工事) ※耐用年数を10年とした場合

シーリング材の資格	シーリング管理士あり	シーリング管理士なし
シーリング防水施工技能士1級	10年	9年
シーリング防水施工技能士2級	9年	8年
なし	8年	7年

◆「シーリング技術管理士」とは・・・

「シーリング管理士」は主に施工業者が取得する資格であるのに対し、「シーリング技術管理士」は、シーリング材製造メーカー、商社、部材メーカー、副資材メーカー、GC、設計事務所など、直接シーリング施工に携わらない方を対象とした資格です。

- 上記2つの資格は、日本シーリング材工業会が発行しているライセンスです。

※当工業会ホームページ「管理士制度」→「概要」を参照して下さい。

◇講習科目

■シーリング材とプライマー	■安全管理	■補償問題の検討と品質問題
■外壁の種類とその仕上げ	■シーリング施工と施工要領書	■ガラス回りのシーリング設計
■目地の納まりと図面の見方	■シーリング目地の補修・改修	■建築の基礎知識
■カーテンウォールと雨仕舞	■被着体	■目地設計演習
■積算演習（シーリング工事総積算額）		■積算演習（図面のひろい方）

※講習日程は2日間です。実技試験はありません。

◇検定料 ※テキスト代は含まれていません。

（新規）	管理士・技術管理士	
	会員	非会員
講習のみ（2日）	30,000	40,000
試験のみ（1日）	15,000	20,000
講習と試験	45,000	60,000

◇受験資格

受験資格条件 〈個人会社でも可〉 〈会社業種問わず〉	シーリング管理士 会社に所属しシーリング工事に携わる者	シーリング技術管理士 会社に所属する者
①所属会社代表者及び部門責任者の推薦する者	○	○
②年齢満20歳以上の者	○	○
③実務（シーリングに係る業務）経験年数が2年以上の者	○	○
④ゴンドラ運転の特別教育修了証を有する者	○	—

※「シーリング管理士」と「シーリング技術管理士」の試験問題は同じです。

◇開催日・開催会場（平成24年度）

- 講習・試験実施日：平成24年6月21日～23日（講習2日、試験1日）
（毎年6月第3週 木、金、土に開催）
- 開催地区：東京会場と1地域会場（地方開催は毎年変わります）
（平成24年度は札幌会場）

募集開始は平成24年3月1日よりホームページに公開

お問合せ Tel.03-3255-2841